

科目名	資格対策講座 3							年度	2025
英語科目名	Certification Exams 3							学期	通年
学科・学年	音響芸術科 2 年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	吉田光宏	教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア・作曲家		
【科目の目的】 Pro Toolsの設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格であるAvid Pro Tools201の取得を目標とする。									
【科目の概要】 Avidの提供する Pro Tools Production II (Music Production) に準じた授業を行う。このためにはPro Tools1・2において101・110・201を取得している必要がある。									
【到達目標】 A. MIDIを理解しMIDIの高度なテクニックを身につける。 B. バーチャル・インストゥルメントを使いこなす事ができる。 C. MIDI機能を高度に使いこなす事ができる。									
【授業の注意点】 必ずメモを取りながら受講する事。また理解できないことが生じた場合は積極的に質問する事。授業中に私語や居眠りはしない事。授業中に発言を求められた場合は大きくハッキリと答える事（それを習慣付けることによって就職活動にも役立ちます）。パソコンが得意になれるように積極的に使用し、できれば購入する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	MIDI CCデータを使って高度なMIDI入力ができる	MIDI CCデータは理解しているが入力できない	MIDIのデータ入力ができる	MIDIは理解しているがデータ入力できない	MIDIが理解できていない				
到達目標 B	アルペジエーター機能とモジュレーションを同期させて編集ができる	アルペジエーター機能を使って編集ができる	バーチャル・インストゥルメントを使って MIDI入力ができる	バーチャル・インストゥルメントで音を出せる	バーチャル・インストゥルメントの使い方を理解していない				
到達目標 C	MIDIチャンネルを使用しマルチティンバー音源を使用し曲の編集ができる	MIDIチャンネルを使用しマルチティンバー音源のパートを使用できる	MIDIチャンネルを理解し使用できる	MIDIチャンネルを理解しているが使用することができない	MIDIチャンネルを理解していない				
【教科書】 Avid認定のPro Tools 210Mテキスト									
【参考資料】 授業内で配るPDFファイル									
【成績の評価方法・評価基準】 ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		資格対策講座 3			年度	2025
英語表記		Certification Exams 3			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	Pro Tools 210Mの解説	Pro Tools 210Mテキストを理解する	1 テキスト210Mの概要	テキスト210Mの概要を把握できる	3	
			2 210Mで大切な事	210Mで身につけるスキルを把握できる		
			3 210M試験について	Pro Tools 210M試験で出るショートカットを理解できる		
2	音源の使用	バーチャル・インストゥルメントを使用する	1 トラック	インストゥルメントトラックの使用	3	
			2 リアルタイム入力	リアルタイム入力ができる		
			3 ウィンドウ	MIDIエディターウィンドウが使用できる		
3	リアルタイム入力	MIDIリアルタイム入力を復習する	1 クリックトラック	クリックトラックを作成し適切に使用できる	3	
			2 リアルタイム入力	MIDIのリアルタイム入力		
			3 クオンタイズ	クオンタイズしてリズムを整える		
4	MIDIの編集	入力したMIDIデータをMIDIエディターウィンドウで編集する	1 MIDIエディター	MIDIエディターウィンドウを使用しMIDIの編集ができる	3	
			2 楽譜エディター	楽譜エディターウィンドウで楽譜を表示できる		
			3 イベントリスト	イベントリストウィンドウでMIDIデータの確認ができる		
5	MIDIビートクロック	ProToolsとバーチャル・インストゥルメントの同期信号の理解	1 同期とは	バーチャル・インストゥルメントとの同期を理解できる	3	
			2 MIDIビートクロック	MIDIビートクロックでのBPMを同期を理解できる		
			3 24パルス	同期信号の解像度を理解できる		
6	MIDI CC	MIDI CCとは何かを理解する	1 CCとは	MIDI Continuous Controller を理解できる	3	
			2 何を送るデータ	MIDI CC で何を制御できるか理解できる		
			3 CCデータの記録	MIDI CC を設定し記録ができる		
7	MIDIチャンネル	MIDIチャンネルを使えるようになる	1 MIDIチャンネル受信	XPand!2 によるMIDIチャンネルの受信	3	
			2 MIDIチャンネル送信	Pro Tools によるMIDIチャンネルの送信		
			3 マルチティンバーの使用	XPand!2 を使用しMIDIチャンネルを使つてのパート作成		
8	リアルタイムプロパティ	リアルタイムプロパティを使用しMIDIを編集する	1 復習	リアルタイムプロパティを理解できる	3	
			2 フローティング使用	リアルタイムプロパティのフローティングができる		
			3 編集項目	編集できる項目の理解と使用		
9	ダイナミックトランスポート	ダイナミックトランスポートを使ったプレイバックの理解	1 プレイスタート	プレイスタートマーカーを使用したプレイバックの理解	3	
			2 ソングスタート	ソングスタートマーカーを使ったスタート位置の移動		
			3 適用範囲	ソングスタートマーカーが適用されるトラックの理解		
10	小節 拍マーカー	小節 拍マーカーを使用できるようになる	1 テンポイベント	テンポイベントマーカーとは何かを理解する	3	
			2 小節 拍マーカー	小節 拍マーカーを理解できる		
			3 テンポ検出	小節 拍マーカーを使用したテンポの検出		
11	時間操作ウィンドウ	時間操作ウィンドウを使用しタイムラインを編集する	1 拍子の変更	時間操作ウィンドウを使用した拍子の変更	3	
			2 時間挿入削除	時間の挿入や削除ができる		
			3 スタート位置の移動	時間操作ウィンドウを使用しスタート位置を変更		
12	クイックパンチレコーディング	数種類のクイックパンチレコーディングを使いこなす	1 クイックパンチ	クイックパンチレコーディングを使用できる	3	
			2 トラックパンチ	トラックパンチレコーディングを使用できる		
			3 ループレコーディング	ループレコーディングを使用したテイク編集		
13	3種類のフェード	3種類のフェードを使いこなす	1 均一のパワー	均一のパワーの使用用途を理解し使用できる	3	
			2 均一のゲイン	均一のゲインの使用用途を理解し使用できる		
			3 自由なスタイル	自由スタイルの使用用途を理解し使用できる		
14	フリーズ・コミット・バウンス	フリーズ・コミット・バウンスを適切に使い分けられるようになる	1 フリーズ	フリーズ機能の使用方法和ファイルの出力先の理解	3	
			2 コミット	フリーズ機能の使用方法和使用用途の理解		
			3 バウンス	数種類のバウンス機能の使用方法和使用用途を理解		
15	210M試験	210M試験の方法を理解し受験に備える	1 アカウントの確認	アカウントやパスワードの確認	3	
			2 試験への入り方	210M試験の入り方の把握		
			3 受験方法	受験時の解答方法や採点方法の把握		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等